

泉州南消防組合地球温暖化対策実行計画における実施状況報告 (令和6年度分)

1. 計画の概要

令和3年10月、削減目標と基準値を現況に応じたものへ修正し、「泉州南消防組合地球温暖化対策実行計画」を「Ver.2」として改訂しました。

当該計画では、当消防組合が使用している各種エネルギーの使用量から算定した温室効果ガス排出量(CO₂換算)について、令和12(2030)年度までに、基準値(令和元年度)と比較して16.8%削減することを目標としています。

2. 令和6年度のエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量(CO₂換算)

下記のとおり、令和6年度の温室効果ガス排出量(CO₂換算)(全資源対象)は781.8tでした。基準値(712.9t)に対し9.7%(68.9t)上回りましたが、令和5年度の値(840.0t)に対しては6.9%(58.2t)下回りました。

なお、削減対象の温室効果ガス排出量(CO₂換算)は504.3tで、基準値(431.0t)に対し17.0%(73.3t)上回り、令和5年度の値(543.8t)に対しては7.3%(39.5t)下回りました。

	電気	LPG	都市ガス	ガソリン	軽油	灯油	合計	割合	削減対象合計	基準値	削減対象合計 対基準比
泉佐野消防署	179.6t		23.6t	21.7t	9.7t		234.6t	30.0%	203.2t	181.2t	112.1%
泉南消防署	43.5t	0.3t		24.9t	7.8t	3.2t	79.7t	10.2%	47.0t	36.0t	130.6%
阪南消防署	53.5t		3.3t	18.4t	10.3t		85.5t	10.9%	56.8t	37.2t	152.7%
熊取消防署	31.3t	2.2t		30.5t	6.7t		70.7t	9.0%	33.5t	27.1t	123.6%
岬消防署	43.0t	3.0t		17.3t	6.9t		70.2t	9.0%	46.0t	47.7t	96.4%
日根野分署	12.8t			18.9t	5.9t		37.6t	4.8%	12.8t	8.9t	143.8%
北分署	31.7t	1.8t		20.6t	2.7t		56.8t	7.3%	33.5t	39.3t	85.2%
本部田尻庁舎	13.5t		0.6t	20.9t			35.0t	4.5%	14.1t	9.8t	143.9%
上瓦屋分署	13.0t	1.2t		19.9t	4.4t		38.5t	4.9%	14.2t	11.7t	121.4%
空港出張所	32.4t		0.8t	6.2t	3.6t		43.0t	5.5%	33.2t	24.3t	136.6%
砂川出張所	8.9t	1.1t		18.9t	1.3t		30.2t	3.9%	10.0t	7.8t	128.2%
合計	463.2t	9.6t	28.3t	218.2t	59.3t	3.2t	781.8t	100.0%	504.3t	431.0t	117.0%
割合	58.3%	1.2%	4.8%	27.8%	7.5%	0.4%	100.0%				
基準値	380.4t	14.4t	33.6t	213.7t	68.2t	2.6t	712.9t				
対基準比	121.8%	66.7%	84.2%	102.1%	87.0%	123.1%	109.7%				

※実行計画5.(2)に基づき、ガソリン及び軽油については削減対象外としている。

3. 考察

令和6年度の温室効果ガス排出量（781.8t）については、前記のとおり基準値（712.9t）を上回ったものの、令和5年度の値（840.0t）に対しては下回りました。排出量の大半（約86%）は電気使用量とガソリン使用量が占めており、その増減による影響が極めて大きく、特に電気使用量は全体の約58%を占めています。電気使用による排出量の基準値は380.4tであるのに対し、令和6年度の排出量は463.2tで約22%増加しており、昨年度同様に記録的な猛暑により増えたものと考えられます。

4. 課題

令和6年度の値は、昨年度より減少し目標値に近づいたものの、外因的な要因である気候によるところが多大であり、当該計画8頁、「5. 温室効果ガスの削減について」のうち「（3）削減目標達成のための取組み」中に記載の事項についても、日頃から職員一人一人が削減に取り組んでいるところですが、いかに下降傾向を継続していくかが課題となります。

5. 今後の取組み

上記課題を解決するため、引き続き空調設備などの適切な使用、照明器具のLED化やエネルギー使用量などの情報共有、各種事業の改善等々、引き続き職員一丸となって温室効果ガス排出量の削減に努め、地球温暖化対策に取り組んでまいります。